

PICK UP

理研興業(株)

小樽市

防雪柵の進化とともに60年
~雪国の道路を支えて半世紀余 納入実績延べ1000km 達成~

同社は、理化学研究所を母体とした新理研工業(株)と理研商事(株)の北海道営業所として昭和24年12月に発足し、理研系各社製品の販売を担当することで順調に推移してきた。同30年10月、新理研工業(株)が大同製鋼(株)と合併するのを機に営業所閉鎖の運びとなったが、取引先等からの強い存続要請を受けて昭和30年11月11日、小樽市に本社を置く理研興業(株)が誕生した。

同36年に世界6カ国で特許取得した「理研クロスポート」を開発し大反響を受けたのち、同38年には業務拡大に伴い札幌市へ本社を移転。その後、平成7年に本社を再び小樽市に移転し、新社屋落成・最新地吹雪再現風洞実験室・製品検査場を完成させた。

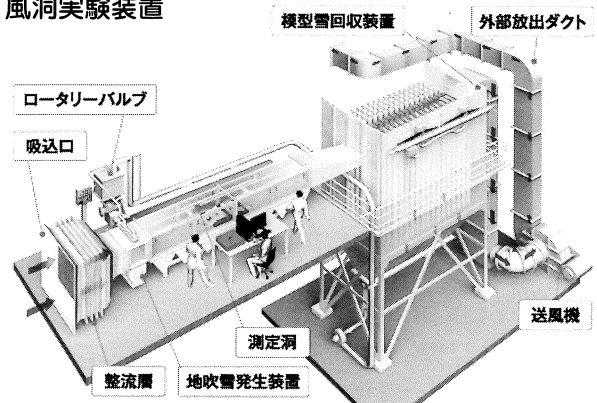
近年では従来より優れた防雪効果や施工時の利便性・維持管理コストの縮減等、多様化するニーズに対応すべく「高性能防雪柵」「高機能防雪柵」「鋼管杭への支柱材接続固定工法」「鋼管杭打ち込み金具」「多機能遮音柵(JFE 建材(株)共同開発)」等を開発。これらの技術は国土交通省新技術情報提供システム NETIS への登録とともに各地で非常に高い評価を得て、防雪柵業界の主流技術として定着した。

理研興業(株)では、これまでに培ってきた技術と経験を活かし、更なる防雪技術の向上を目的とした「超高性能防雪柵」の製品化や、防雪柵にとどまることなく新たな分野への挑戦として「高輝度 SMD を用いた視線誘導方法(株)砂子組共同開発)」の提案、「防雪防風柵用基礎コンクリートブロック(日本高圧コンクリート(株)共同開発)」、環境への配慮ならびに異常気象頻発への対応を目的とした事業として「防雪柵の鋼管杭を活用した地中熱探熱システム」の実用化研究(北海道科学大学と連携・経済産業省中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する特定研究開発等計画認定)、「太陽光発電を活用した融雪システム」の構築(PVG Solutions(株)・(株)クラレと共同開発)を新たに推進している。

国内トップメーカーとして知られる同社は国内外への技術支援・普及活動も積極的に行っており、昨年には独立行政法人国際協力機構主催による研修の一環として東ヨーロッパ・中央アジアの国々から来客を招き、防雪柵の新技術プレゼンテーションや風洞実験の視察を行った。一般社団法人北海道開発技術センターの依頼を受け、理研興業(株)が協力する形で本視察が実現したが、国内でも最先端の防雪技術に各国代表からは感嘆の声が上がった。また、社会貢献活動の一環として138年を誇る日本の鉄道遺産を守るべく、NPO 法人北海道鉄道文化保存会が実施している鉄道文化遺産・展示車両の保護修復事業にも参加している。

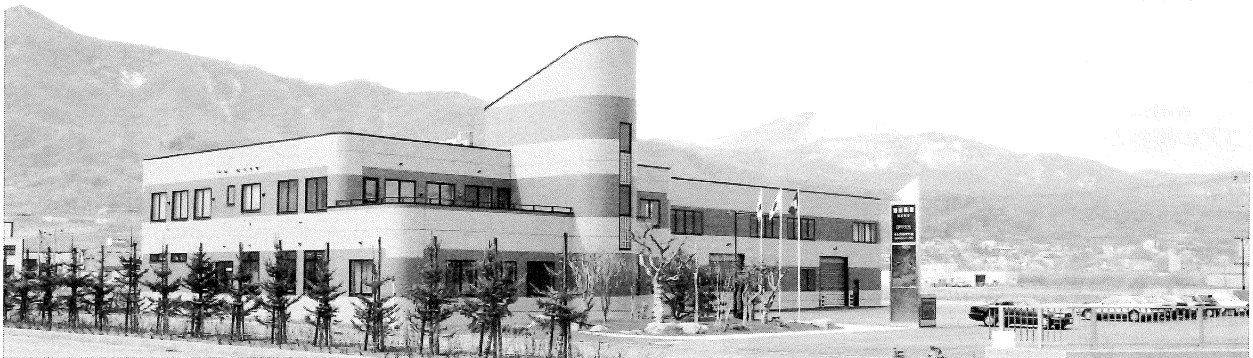
防雪・防風柵メーカーとして確固たる地位を築く理研興業(株)は「社会貢献・新たな挑戦・環境への配慮」の理念を貫き、今後もさらなる発展を目指す。

風洞実験装置



地吹雪を解析する風洞実験施設全体図

本社社屋



企業profile

★主力業種 防雪防風柵の製造販売★

〒047-0261 小樽市銭函3丁目263番地7
TEL: 0134-62-0033 FAX: 0134-62-0088

- 代表取締役: 柴尾耕三
- 設立: 昭和30年11月11日
- TSRコード: 01-011011-9
- URL: <http://www.riken-kogyo.co.jp/>

